

家主と地主®

2018
5
月号
Vol.92

外国人 生活習慣の違いが原因で 下階に漏水事故が発生

外国人の場合、生活習慣が異なるため気を付けないとトラブルになることがある。

2018年2月、シー・エフ・ネッツ（神奈川県鎌倉市）の管理物件で中国人入居者の漏水事件が発生したのは、入居からたった10日の出来事だった。

被害があった下の階は空室だったため、同社が部屋の巡回時に気づいたのは、不幸中の幸いだった。

だがこれは氷山の一角で、このことでこの中国人入居者の驚きの生活実態が明らかになったのだ。「入居からまだ10日しかたっていないから、部屋の設備に問題があるのかもしれない」。ただちに中国人の部屋の問題点を発見するため、保険会社の調査員が立ち入り検査に入った。

すると、建物の『使い方』に問題があることがわかった。なんと



塩ビでできたパイプ
(イメージ)



シー・エフ・ネッツ
(神奈川県鎌倉市)
伊藤郁子氏

その中国人入居者は、シンクの排水溝のゴミ受けを取り外し、料理をした際に出た沸騰した熱い油をそのまま排水溝に流していたのだ。そのため、排水管は油の熱で溶け、穴が開いてしまった。さらに、管には野菜くずなどが大量に詰まっていた。

同社の伊藤郁子氏によると、同社では中国語・韓国語が話せるスタッフがいたので、入居者の言語で部屋の使い方だけでなく、日本のハウスルールを定めた紙も契約時に配布している。それでも、ルールを守れない入居者の対応策に追われることになることもある。

解決策

ハウスルールを入居者の言語で説明。表記した紙を渡し、日本の住居の使用法を教える